



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2023.11.10 号

園主の鳥居徹也です。夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。※配信停止の方はお手数ですがメールまたはお電話でどうぞ(info@trepont.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼稚園
電話:047-429-7231

子どもの情緒と腸内細菌の関係

私は時々「腸内細菌」というキーワードでgoogleのニュース検索を行います。つねに最新ニュースをチェックしています。

すると9月6日付で、京都大学のサイトに次のような発表が出ていました。

「幼児期の感情制御は腸内細菌と関係する」

腸に炎症を起こす悪い菌が多いと、子どもに問題行動が起こりやすいのです。おおかたの予想はついていましたが、日本で初めて確認されました。



ところで私たち夏見台幼稚園・保育園の保育の大きな目標の一つが「**自律性**」です。自分の頭で考えて選ぶということです。

いつも先生の指示どおり、親の言う通りに動いていたらどうなるでしょうか。子どもはいずれ独り立ちします。その時には、自分で自分のブレーキを制御しなければなりません。

また私たちの食育は「腸から健康を考える」がテーマです。甘味料に本みりんを煮切った「みりん蜜」を使う、海藻などの水溶性食物繊維を意識するなど、腸にやさしい食事は、子どもの情緒の安定にプラスすると信じています。

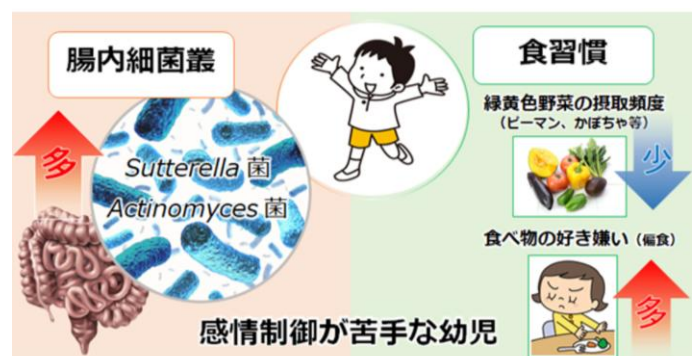
ですから、今回の京都大学の発表はまさに「わが意を得たり！」でした。

この研究は京都大学と大阪大学の共同で行われ、3～4歳の257名を対象に、

- 1)日常の問題行動アンケート
- 2)糞便検査
- 3)食習慣アンケート

を行いました。

下の図は今回の研究をまとめたものです。



感情制御が苦手な子どもは、サテレラ菌やアクチノマイセス菌など体内で**炎症**を起こす菌が増えており、かつ偏食で、緑黄色野菜を食べない傾向にありました。

またサイトには次のようなことも書かれてあります。

自己の欲求などをコントロールする感情制御は、前頭前野の急激な発達により、幼児期に顕著に発達します。この時期の感情制御は、将来(成人期)の社会経済力を予測することもわかっています。

最後の波線のところは、ヘックマンの研究のことを指していると思われます。

2000年のノーベル経済学賞も受賞したジェー

ムズ・ヘックマンは教育投資の経済効果について調べました。最初は、高卒認定試験合格者とそうでない人

2000年ノーベル経済学賞
ジェームズ・ヘックマン



との将来比較を行いました。年収や犯罪率など、特に差はありませんでした。

そこでヘックマンは、幼児教育の経済効果を調べます。これが有名な「ペリー就学前プロジェクト」です。

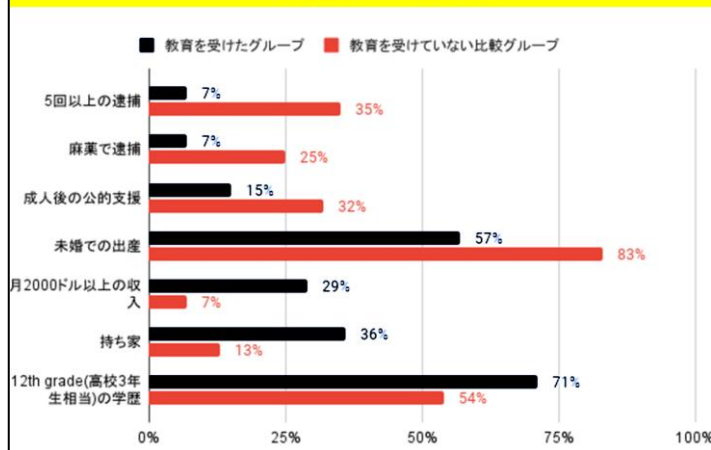
「ペリー就学前プロジェクト」

対象:123人(3~4歳)
アフリカ系アメリカ人の貧困家庭
IQ:70~85と決して高くはない子

ペリー小学校附属幼稚園
に通う・通わないの2グループを
40年間追跡した

研究内容は上図のように行いました。対象人数が少ないところに批判はありますが、40年の追跡調査には説得力がありました。

40年後の結果



ペリー小学校附属幼稚園で教育を受けたグループは、「5回以上の逮捕歴」「麻薬で逮捕」が圧倒的に少なく、「成人後の公的支援」を受ける人も半数以下、「未婚での出産」も少ない傾向にありました。

反対に、「年収」「持ち家率」「高卒学歴」

などは、教育を受けたグループが圧倒しておりヘックマンは「教育投資をするならば幼児教育が望ましい」と結論しました。

その提言に従い、先進国では幼児教育に多くの予算が組まれましたが、はて、日本は??

ちなみに日本でも同様の研究が始まっているようです。2月27日付の読売より。



ヘックマンの研究では子どもの「非認知能力」がカギとなっているといわれました。非認知能力とは、「やりきる力」「コミュニケーション能力」「自制心」などです。まさに今回の京都大学で検討された「感情制御」です。

3歳までに腸内細菌の分布の土台が作られることがわかっています。幼児期の食育はとても重要です。こうしたことも踏まえて、夏見台幼稚園・保育園の食育は、子どもたちが野菜を好きになってくれるように、工夫を凝らしていきます。

だしはケチらず、たっぷりと。さらに新しい「うま味」を加味すべく、調理スタッフには試作を重ねてもらっています。(終)